

氏名（生年月日）	林 純 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4040 号
学位授与の日付	平成17年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Osteogenic protein-1 reduces intercellular adhesion molecule-1 messenger RNA expression, infarct size and TUNEL-positive cardiomyocytes in ischemia / reperfusion rat hearts (Osteogenic protein-1は、ラット心虚血再還流障害モデルにおいて、intercellular adhesion molecule-1のmessenger RNAの発現、梗塞サイズ、及びTUNEL陽性の心筋細胞数を減少させる)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 佐野 俊二 助教授 富澤 一仁

学位論文内容の要旨

【目的】ラット心虚血再還流障害での、osteogenic protein の役割の検討 【方法】心虚血後に、再還流直前に osteogenic protein-1 (OP-1) を投与して、ICAM-1 mRNA の発現を検討し、梗塞サイズを検討し、TUNEL 染色も行った。【結果】OP-1 投与群、プラセボ群の両群で、再還流4時間後の摘出心から、ICAM-1 mRNA の増加を認めた。増加の割合は、OP-1 投与群の方が、優位に低く、24 時間後、7 日後でも、同様の結果が得られた。TTC 染色では、OP-1 投与群での、有意な梗塞サイズ低下を認めた。TUNEL 染色では、OP-1 投与群での、TUNEL 陽性の心筋細胞の割合の有意な低下を認めた。【結論】OP-1 は、ラット心虚血再還流障害に伴う ICAM-1 の発現を抑制し、TUNEL 陽性の筋細胞数を減少させることにより、心筋梗塞サイズを縮小させることが示された。

論文審査結果の要旨

本研究は、ラット心虚血再還流障害での osteogenic protein の役割を検討したものであるが、従来十分確立されていなかった osteogenic protein-1 の心筋梗塞縮小作用の機序に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。